

## (27) 阿蘇防災学習プログラム

### 1 活動の目的、効果

#### (1) 体験活動上の効果


◎阿蘇の自然に親しむ ○阿蘇の文化に親しむ ◎課題克服・達成感

#### (2) ESD の課題解決に必要な7つの能力・態度

##### ② 未来を予測して計画を立てる力

過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力

### 2 活動の詳細

概要 (セールスポイント)	阿蘇は、風水害、火山関連災害、地震といった自然災害に幾度も襲われ、日常生活や命を脅かされてきました。しかし、その度にたくましく復興、復旧してきた経験を持つ地域です。 このプログラムでは、主に地域住民で構成されているガイドと一緒に見学しながら、阿蘇の地質や過去の災害からの教訓などについて学ぶプログラムです。フィールドワークや語り部講話などから、阿蘇で暮らす人々の思い・願い等を知るとともに、防災・減災について学ぶことができます。 理科、社会、道徳等と関連させた学習を行うことができます。				
	実施形態	指導必須（各ガイドによる）		提出書類	ジオパーク学習・阿蘇防災学習申込書活動
諸条件	必要経費	別紙のとおり		所要時間	別紙のとおり
	活動場所	①・②別紙のとおり ③所内、所外（要相談）		対象・人数	別紙のとおり
	時期	通年	下見	不要	天候
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物	
	①・② ・無線機 ・ビブス 等  ③ マイク、プロジェクター、スクリーン				①・② 【個人】・帽子 ・手袋（軍手）・リュックサック ・水筒・雨合羽（傘不可）・運動靴 ・野外活動に適した服装（長袖・長ズボン） ・タオル（ハンカチ）・ティッシュ ・ビニール袋 （必要に応じて） ・弁当 ・防寒防風着 ・救急用品 【団体】・救急用品 ・携帯電話 ・笛 等 ・移動手段としてのバスの手配 ③ パソコン（必要に応じて）
役割分担	青少年交流の家で行うこと			団体引率者が行うこと	
	1) 実施前  ②ガイド手配の依頼 ③ガイド確保の連絡（各団体へ） ④活動決定後の確認（各団体へ） 2) 当日 ①物品の貸し出し  ④物品の受けとり、参加人数の確認			1) 実施前 ①防災学習の申し込み（交流の家へ） ③ガイド確保の連絡を受けたら、 活動の詳細は、団体とガイド協会で行う。 2) 当日 ①貸出物品の受けとり ②安全、マナー指導 ③活動中の人員、健康状態の把握 ④終了後の物品の返却、参加人数の報告	

### 3 活動のふりかえりのポイント



視 点：①「震災遺構、防災対策に関する体験や学びをとおして、感じたこと、考えたこと、気づいたことを共有する。」

②「阿蘇の災害やそれを経験した人々の思いが、自分たちの生活とどのように関わっているかを考える。」

発問例：①「今日見学した〇〇について、感じたこと、考えたこと、気づいたことを班の中で発表してみよう。」

②「今日活動した〇〇は、私たちの毎日の生活とどのようななかかわりがあるでしょうか。」

### 4 SDGsで目指す姿

		<p>13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。</p> <p>13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。</p> <p>阿蘇での学びから、自分が生活する地域起こりうる災害について予測し、家族や地域社会の一員として、自分にできることを考え行動しようとする姿。</p>
--	---	--

## プログラム実施の流れ

申し込み  
(2か月前まで)

- ① 活動検討段階で、「ジオパーク学習・阿蘇防災学習プログラム申し込み用紙」を提出  
申込書は交流の家ホームページからダウンロードしてください。
- ② 交流の家より、ガイドの手配を各ガイド団体へ依頼。
- ③ 各団体より、ガイド確保の連絡があった段階で、実施可能。  
※ガイドの確保ができない場合は、実施をお断りすることもあります。

実施決定～  
当日まで

- ① 利用団体の担当者が、ガイド協会に連絡を取り、当日の見学地、日程等の確認を行う。

実施当日

事前説明

- ①安全面
  - ・活動中はガイドの指示に従う。
  - ・ルートを外れるなど勝手な行動をしない。
- ②健康面
  - ・体調が完全に悪くなる前に、早めに周囲の大人へ伝える。
- ③マナー
  - ・ごみを捨てない。
  - ・一般の観光客に迷惑をかけない。 など

活動

※①・②の時間は、交流の家からの移動時間が含まれています。(移動時間：片道約40分)

プログラム①	阿蘇の「水」に学ぶ 約2～3.5時間(選択した見学地により異なる)
○立野ダムガイドの案内で、立野ダム建設現場等を見学し、熊本の水害と治水について学ぶ。 (見学地)	
①あそ立野ダム広報室 ②展望台よりダム現場見学 ③立野ダム建設現場(たてのテラス)	

プログラム②	熊本地震関連フィールドワーク(4.5～6時間)
○阿蘇ジオガイドの案内で、熊本地震関連被災地を見学し、熊本地震について学ぶ。 (見学地例)	
①立野峡谷ジオサイト(阿蘇大橋滑落地・新阿蘇大橋など) ②布田川断層 ③旧長陽西部小学校 ④旧東海大学阿蘇キャンパス ⑤阿蘇火山博物館 など	
【参考】 別途申し込みが必要	
※熊本地震を語り継ぐ人々の復興に向かう活動や思いを知り、熊本地震について学ぶ。 (旧長陽西部小学校)	
・被災体験を語り、復興に向けて再び地域に活力を生み出そうという住民の優しさと力強さに学ぶ。	
※南阿蘇村で行っている「復興弁当と語り部講話(1.5時間)」を組み合わせるとより効果的に熊本地震について学ぶことができます。	

プログラム③	震災語り部講話(1～1.5時間)
○阿蘇ジオガイドから、熊本地震を語り継ぐ活動や思いを知り、熊本地震について学ぶ。	
・阿蘇での生活、阿蘇ジオガイドの経験、熊本地震の被災体験をもとに、阿蘇の歴史や成り立ち、神話とともに受け継がれてきた人々の暮らし、防災・減災などについて学ぶことができます。	

活動後

人数・健康状態の確認、借用物品の返却

## ガイドの活用

この活動を行う際は、ジオガイドの帯同が必須となります。ガイドが引率者に代わって、各見学地の解説をします。

ガイドを手配する都合上、このプログラムを希望される場合は、活動2ヵ月前までに申し込み用紙を提出してください。なお、下記のとおり、料金が必要になりますので、ご了承ください。

## ご利用料金

プログラム①	○参加者40人につき、ガイド1人配置	ガイド1人 7,000円
プログラム②	○参加者15人につき、ガイド1人配置	ガイド1人 12,300円
プログラム③	○ガイド1人	7,400円

※プログラム②で火山博物館を見学する場合は、以下のとおり、別途入館料、駐車料金が必要です。

《阿蘇火山博物館観覧料》

大人 860円 子供(小学生) 430円 ※団体割引有り。詳細はこちら



【阿蘇火山博物館 駐車料金】 普通車：500円 マイクロ：1,000円 大型：2,000円

## その他

フィールドワーク等の現地への移動は、バスによる移動です。バスは各団体でご準備していただく必要があります。交流の家のバスを利用する場合は、別途バス利用申込みが必要です。



《各プログラムごとの見学地》

プログラム①(水に学ぶ) ... ①～③

プログラム②(震災遺構) ... ④～⑦ + 阿蘇火山博物館